

---

【テキスト中に現れる記号について】

《》：ルビ  
(例) 三鷹《みたか》の

|：ルビの付く文字列の始まりを特定する記号  
(例) 甲州|御坂峠《みさかとうげ》の

---

この、三鷹《みたか》の奥に移り住んだのは、昨年の九月一日である。その前は、甲府の町はずれに家を借りて住んでいたのである。その家のひとつきの家賃は、六円五十銭であった。又その前は、甲州|御坂峠《みさかとうげ》の頂上の、茶店の二階を借りて住んでいたのである。更にその前は、荻窪《おぎくぼ》の最下等の下宿屋の一室を借りて住んでいたのである。更にその前は、千葉県、船橋の町はずれに、二十四円の家を借りて住んでいたのである。どこに住んでも同じことである。格別の感慨も無い。いまの三鷹の家に就《つ》いても、訪客はさまざまな感想を述べてくれるのであるが、私は常に甚《はなは》だいい加減の合槌《あいづち》を打っているのである。どうでも、いい事ではないか。私は、衣食住に就いては、全く趣味が無い。大いに衣食住に凝《こ》って得意顔の人は、私には、どうしてだか、ひどく滑稽《こっけい》に見えて仕様が無いのである。

底本：「太宰治全集10」ちくま文庫、筑摩書房

1989（平成元）年6月27日第1刷発行

1998（平成10）年6月15日第4刷発行

底本の親本：「筑摩全集類聚版太宰治全集」筑摩書房

1975（昭和50）年6月～1976（昭和51）年6月

初出：「新潮」

1940（昭和15）年3月1日

入力：増山一光

校正：土屋隆

2006年1月13日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。